

2021 年度 事業報告書

1 事業実施の概略

りたは、市民及び市民団体、企業が行う社会貢献活動を促進し、市民・企業・行政が相互に参加や協力するまち育てを支援することで、岡崎市の協働型社会づくりを促進することを目的として掲げている。

そして、その目的を実現するため、りたは、市民自治の観点から地域自治と多様な市民活動を支援し、地域社会での連携・協働の推進に積極的な役割を果たすことや、社会の幸福をめざし市民・企業・行政が連携・協働のもとにそれぞれの役割と責任を担う「新しい公共」の理念を社会に浸透させ、「持続可能な社会」につながるまち育てを進めていくことを使命としている。

2021 年度にりたが取り組んだ主な事業は、以下のとおりである。

- ・市民協働まちづくりを推進するための拠点施設を運営する地域交流センター（5 館）指定管理事業と
りぶら市民活動センター運営事業
- ・地域の担い手不足などの喫緊の課題を地域で解決していくことを支援する乙川リバーフロント地区
のまちづくりデザイン事業（籠田公園・中央緑道周辺地区の地域経営支援）、地域包括ケアシステム
支援業務、中山間地関係人口創出プロジェクト
- ・岡崎市が公民連携による公共空間の利活用を進める公園愛護運営会等設立支援業務、かわまちづく
り支援事業
- ・これまで培ってきた市民協働のノウハウを活かし、県内各地域でのまちづくり推進や地域課題の解
決を支援するまち育ての専門家派遣事業
- ・なお、今年度は地域交流センター第 3 期指定管理の最終年度にあたり、来年度以降 5 年間の第 4 期
指定管理者を決めるプロポーザルが行われ、りたが選定された。

以下、本年度に掲げた注力すべき 3 つの主要テーマに沿って、主な成果を記す。

テーマ 1 地域の活力を高める

市民活動および地域活動の拠点施設（地域交流センター）の管理運営を通じて、市民自治・地域自治の礎となる地域の担い手を掘り起こし、市民活動団体による公益活動の場づくり、中学生・高校生・大学生の社会参加の場づくり、市民活動や地域活動へのボランティアマッチング（まちびとバンク）を推進した。

日常的な窓口業務や情報の受発信、事業実施により蓄積されたネットワークを活かし、地域の課題解決や地域資源を活用する担い手を掘り起こし、市民協働型社会の実現に向けた活動を行った。

【該当事業】地域交流センター指定管理、まちびとバンクほか

テーマ 2 地域の資源を活かす

河川、公園、道路などの公共空間、そしてそうした場所を積極的に活用する市民、団体、事業者を地域の資源としてとらえ、公共空間のより豊かな使われ方を見出し、その場所ならではの価値として意味付け、それらを具現化し、持続させるための活動と結びつけ、地域の魅力向上に貢献した。

【該当事業】乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン事業、かわまちづくり運営支援事業、公園愛護運営会設立支援業務ほか

テーマ3 地域の課題を解決する

少子高齢化、空き家の増加、防災、子育て支援など、山積する地域課題に対して、地域包括支援センター、社会福祉協議会、学区福祉委員会など既存の担い手との連携や、社会貢献意欲のある個人や団体、ボランティアなどの担い手の発掘およびマッチングを通じて、地域の課題解決を支援した。

とりわけ本年度は、りた自主事業として、自主財源および東海ろうきん NPO 育成助成金を活用し、過疎化の進む中山間地（下山学区）において地元と連携して持続可能な地域づくりに向けた取組に着手し、新設された岡崎市中心間政策課の協力も取り付け、地域課題の把握と課題解決のための機運醸成に寄与した。

【該当事業】地域包括ケア支援事業、籠田公園・中央緑道周辺地区の地域経営支援業務（乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン事業の一部として）、中山間地関係人口創出プロジェクト、市民活動支援ほか

各事業の詳細は以下に記す。

2 事業の実施に関する事項

（2021 年度 事業一覧）

定款項目	事業名
ア まち育てに関する相談や助言事業	アー 1 りぶら市民活動センター運営事業
イ まち育てに関する学習機会の提供事業	イー 1 まち育てインターン受入事業
ウ まち育てに関する情報収集と発信事業	ウー 1 乙川リバーフロント地区まちづくり情報発信業務
エ まち育ての専門家の育成と派遣事業	エー 1 まち育てコーディネーター養成事業 エー 2 まち育ての専門家派遣事業
オ まち育てに関する調査研究、政策提言事業	オー 1 公園愛護運営会等設立支援業務 オー 2 地域包括ケアシステム支援業務
カ 市民と企業と行政をつなぐまち育て支援事業	カー 1 乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン事業 カー 2 かわまちづくり支援事業 カー 3 中山間地関係人口創出プロジェクト カー 4 エキニシタウン会議部会運営事業 カー 5 「名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備事業」パークマネジメント活動業務 カー 6 「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」に関するコンサルティング カー 7 公園緑地整備交付金事業費の内公園マネジメント会議運営補助業務

	カー 8 ささしま地区高架下空間のあり方に関する検討ワークショップ
キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業	キー 1, 2, 3, 4, 5 岡崎市地域交流センター (北部・南部・西部・東部・六ツ美分館) 指定管理事業

ア まち育てに関する相談や助言事業

アー 1 りぶら市民活動センター運営事業

(ア) 事業内容

りぶら市民活動センターは、「協働する意欲のある市民の参画意識の醸成と市民活動全般の活性化を支援する」ことを目的とした岡崎市受託事業である。業務内容としては、①市民活動支援（情報収集及び提供、窓口相談、講座等の実施等）、②情報ひろば（市民活動団体の情報を掲載した WEB ページ）の運用管理、③地域交流センターとネットワーク形成（会議運営等）等を行っている。

(イ) 実施時期 2021 年 4 月～2022 年 3 月 開館日の 9:00～21:00

(ウ) 実施場所 岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 2 階市民活動総合支援センター内

(エ) 従事者 稲葉（センター長）、鈴木千（副センター長）高木、鈴木紀、鬼武、山崎、三矢（支援担当）

(オ) 事業収入 8,965,356 円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ他 担当課：市民協働推進課）

(カ) 成果

今年度も、仕様書に定められた項目に対して適宜改善を行い、業務を遂行した。特筆すべき成果としては、「コロナ禍での支援」である。

1 つ目の取り組みとしては、新型コロナウイルスの感染拡大による施設の利用制限または閉鎖・自粛(要請含む)などを理由に、思うように活動できない団体が多数存在していたため、この期間を好機と捉え今までの活動を年表形式で振り返り、次の活動を展望するセミナーを地域交流センターと合同で開催。ワークの時間には、センタースタッフが日頃の傾聴スキルを活かして、マンツーマン形式で団体をきめ細やかにサポートした。開催後には、作成した成果物（年表や履歴書）を自団体のイベントで活用したり、補助金の申請時や団体の冊子を作成する際に利用する等、今後の団体活動に役立てたいとの前向きな声も聞かれた。また、座学形式だけでなく作成した履歴書の内容を参加者同士で話し合う時間も設け、団体交流の機会を創出することができた。

2 つ目の取り組みとしては、団体の広報力向上を目指した講座を開催。市内でクラウドファンディング(以下、CF)の実践経験がある団体をゲストに招き、事例紹介から CF への理解を深めてもらう機会を提供。CF セミナーにおいても座学に加えて参加者・ゲスト団体同士で対話する時間を設けた。結果、開催後に複数の団体から今後の事業連携や協働先としてつながることができたとの声が聞かれた。

2 つの事業を通して、市民活動団体の組織力向上はもちろんのこと、コロナ禍で薄れてしまっている団体間の情報交換の場づくりが重要であることを再認識することができた。次年度以降

も団体間の交流を大切にしていきたい。

その他、事業の実施結果については、次の図表に示す。

業務名／事業名	内 容	時 期	参加者
市民活動情報の収集及び提供	・ポスター・チラシの受付、掲示・配架 ・市民活動団体向けメールマガジン発行 ・市民活動センターホームページの更新	通 年	チラシ等の受付：576 件 メルマガ：登録団体（264 団体）に年 9 回送付※臨時号含む
市民活動相談	市民活動に関する相談対応を行った。	通 年	相談件数：105 件
市民活動情報ひろば入力支援	市民活動団体向けに、情報ひろばの利用促進を狙い、窓口にて入力支援を行った。	通 年	対応団体：6 団体
市民活動団体の登録、変更、廃止受付	市民活動団体を作りたい市民へのアドバイス、登録申請の受付、既団体の登録変更、廃止の受付を行った。	通 年	新規：6 件 変更：69 件 廃止：27 件
まちびとバンク事業(ボランティアマッチング)	ボランティアをしたい市民とボランティアを必要としている団体のマッチングを行いボランティア活動の促進に努めた。	通 年	新規登録：7 名 依頼：41 件(地交分) 30 件(市活分) マッチング： 1,326 件(地交分) 422 件(市活分)
まちびとステージ	自分の経験・特技を活かせる場所を積極的に探している個人と、活躍場所のマッチングをするサービスの試験的運用を開始した。	通 年	依頼：4 件 マッチング：5 件
もののものバンク事業	不用品を提供いただき、必要としている団体にマッチングすることで団体が抱える「モノ」不足を解消することに務めた。	通 年	<譲渡> 受入数 10 品、成立 24 件 <レンタル> 受入数 1 件、成立 26 件 <探しています> 受入数 2 件、成立 2 件
広報講座① 年表で活動の見える化！～団体の履歴書を作ろう～	※「キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業」の共通事業の記載参照	11 月 2 日	総来場者 32 名 参加者 16 名 講師 1 名 運営者 15 名
広報講座② クラウドファンディング超入門講座 ～おカネと仲間がどんどん集まる!～	※「キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業」の共通事業の記載参照	1 月 22 日	総来場者 34 名 受講者 14 名 講師 1 名 ゲスト 3 団体/7 名 取材(ミクス) 2 名 運営者 10 名

イ まち育てに関する学習機会の提供事業

イー１ まち育てインターン受入事業

(ア) 事業内容

今年度は下記２つのインターンプログラムにおいてインターン生の受け入れを行った。事業収入は０円（事業支出は一般管理費より充当）

①NPO 法人アスクネットからのインターン受入れ

- ・プロジェクト名：安城学園高等学校商業科コース 2021 年度「BIG プロジェクト」インターンシッププログラム
- ・実施期間：2021 年 7 月 24 日（土）、25 日（日）、28 日（水）
- ・受入人数：2 名
- ・事業概要：安城学園高等学校商業科コース 1 年生を対象に、進路選択に役立てるだけでなく、地域の方とつながりを持ち、社会の一員として自覚が芽生えることをねらいとしたインターン生 2 名の受入協力を行った。2021 年 7 月 25 日（日）にやはぎかで開催した「子どもの国」の準備および当日運営補助を通じて、地域、教育機関（中学・高校・大学）が協働して子どもたちの学びと交流の場をつくる体験の機会を提供した。
- ・主な従事業務：やはぎかん「子どもの国」
- ・成果：多世代交流を促進・支援する役割とその重要性を理解していただいた。

②NPO 法人ドットジェイピーからのインターン受入れ

- ・プロジェクト名：NPO・NGO インターンシッププログラム
- ・実施時期：2022 年 2 月 2 日（水）～3 月 31 日（木） ※定例実施は週 2 日
- ・受入人数：1 名
- ・事業概要：大学生を対象に、社会に目を向け「多様な社会制度」を知ることがを目的に開催されている全国団体のインターンシッププログラムに協力し、大学生 1 名のインターン受入れを行った。2 カ月間で実施する様々なまち育ての事業・現場で作業を行い、また担当スタッフ、関係者と触れてもらい、大学の講義やメディアなどでは得られない情報・経験・視点を得られる場を提供した。
- ・主な従事業務：過去の地域交流センター情報誌の特集記事のデータベース化
市民活動センター「まちびとバンク」関連作業（Web フォーム作成等）
以下の事業における運営スタッフ業務
KCBM 次世代の会（2/14）、QURUWA シンポジウム（2/20）、
ささしま地区高架下空間のあり方に関する検討ワークショップ（2/24）、
やはぎかん「市民活動フェス」（3/6）
- ・成果：まちや社会の課題への視点・向き合い方、周囲への働きかけ方をスタッフの姿から学んでもらうことができ、インターン生自身が設定した自己改善の目標に好影響

を与えることもできた。本法人としても、若者の視点に立った事業運営の改善や、学生インターンの継続的受入れの可能性を探ることができた。

③愛知県 2 年目職員研修

- ・愛知県から派遣された研修生（就職 2 年目職員）を対象に、インターン研修を通じて「まちの学習機会」を提供し、受講者のまちづくりリテラシーを高める予定だったが、新型コロナウイルス対策のため、県の判断でプログラムは中止となった。

ウ まち育てに関する情報収集と発信事業

ウー１ 乙川リバーフロント地区まちづくり情報発信業務

（ア）事業内容

乙川リバーフロント地区（以下、「RF 地区」）のまちづくりについて広く市民に周知するとともに、まちづくりの目的や意義に関する市民の理解を高め、参画を促進することを目的として、RF 地区のまちづくりの取り組みについて、市民および民間事業者への周知を図り、回遊性を高めるため、QURUWA ボードおよび QURUWA WEB (quruwa.jp) の企画・運営などを行った。

（イ）実施時期 2021 年 4 月～2022 年 3 月

（ウ）実施場所 岡崎市中心市街地

（エ）従事者 山田拓、天野、岩ヶ谷

（オ）事業収入 ¥1,815,000 円

（都市機能計画室からの事業受託費より繰り入れ 担当課：岡崎市都市施設課）

（カ）成果

2022 年 1 月の QURUWA WEB (quruwa.jp) の本格運用に向けて、QURUWA ボード及び暫定版 QURUWA WEB を SNS と連動して運用し、QURUWA エリアの商業者や市民活動団体等が facebook グループの情報発信を通じて、ボードや WEB による情報提供ができる仕組みづくりを行った。また、QURUWA WEB のアクセス分析を行い、運用改善を図った。

エ まち育ての専門家の育成と派遣事業

エー１ まち育てコーディネーター養成事業

（ア）事業内容

今年度新たに入社したスタッフに対し、岡崎市内の NPO/市民活動の潮流とりたの位置づけや業務の概要等について解説し、中間支援組織の一員として業務に従事できるよう教育を実施した。一方、管理職者向けには、1 月より定例会議の場を利用してミニ勉強会を開始し、りたの事

業展開・岡崎市内のまちの課題を共有し、意見交換を行った。

(イ) 実施時期

新人研修 2021 年 11 月 5 日・18 日、12 月 3 日（全 3 回）

管理職向け 2022 年 1 月 14 日、2 月 10 日、3 月 11 日

(ウ) 実施場所 岡崎市地域交流センター（北部、南部、西部、東部、六ツ美）他

(エ) 従事者

新人研修：（講 師）天野、三矢、深田、平岩

（受講者）吉開・手嶋・山中・吉岡（北）、天野俊・青山（南）、岩川（西）、遠竹（東）、
永谷・黒田（事務局）

管理職向け：（講 師）天野、三矢、岩ヶ谷

（受講者）築瀬、大久保、深田、平岩、藤岡、伊藤、石田、小早川、阪口、栗生、
稲葉

(オ) 協働先：なし

(カ) 事業収入 0 円 （事業支出は一般管理費より充当）

(キ) 成果

新 人：りた職員に求められる基本的な考え方や基礎的な知識を習得。多岐に渡るりたのまちづくりにおける中間支援の概要に触れることで、職員としての自覚を促した。

管理職：事業のプロジェクト担当者（リーダー）から、事業のポイントや課題分析を直接聞き、意見交換をすることで、まち育てコーディネーターとして地域に関わる意義を改めて認識し、その方法論を学んだ。

なお、当年度はセンター長以上のスタッフを主な対象として、外部研修を積極的に活用した。来年度からの地域交流センター次期指定管理へ向けた準備期間に当たる中で、次年度からの施設運営・事業企画に役立てるとともに、まち育てコーディネーターとしての知見・ネットワークを広め、地域交流センター・市民活動センターの施設役割強化につなげることができた。

例として、「災害ボランティアコーディネーター養成講座」（岡崎市社会福祉協議会）

「連携・協働のためのコーディネーター専科」（愛知県・社会活動推進課）

「企業が取り組む SDGs ～目的と効果～」(岡崎市経済振興部森林課)

エー２ まち育ての専門家派遣事業

(ア) 事業内容

岡崎市近郊での講義や岡崎市内の先進事例の紹介、各種委員会や審議会への助言ならびに政策提言を担った。

(イ) 実施時期 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

(ウ) 会 場 岡崎市、名古屋市、小牧市

(エ) 従事者 築瀬、大久保、天野、三矢、深田

(オ) 事業収入 230,200 円（各機関・団体等より受託）

(カ) 成果

市内で実践した成果が県内の各地域や国などからの評価につながり、その評価を踏まえ、市内

の他地区へのノウハウ移転や他の地域課題に対する複合的な解決策の提示を推進することができた。

〔専門家派遣リスト〕

（天野担当分 1 事業）

- ・法政大学法学部「公共政策フィールドワーク」岡崎現地研修コーディネート／法政大学（2/3）

（三矢担当分 3 事業）

- ・愛地球博記念公園マネジメント会議／愛知県／総会コア会議（7/28、9/14、1/25）
- ・フォーラム「未来の南公園」コーディネーター（11/20）
- ・法政大学法学部「公共政策フィールドワーク」岡崎現地研修コーディネート／法政大学（2/3）

●委員会等での助言

（築瀬担当分 1 事業）

- ・岡崎市乙川リバーフロント地区かわまちづくり協議会（7/16、2/10）

（大久保担当分 1 事業）

- ・岡崎市市民協働推進委員会（11/27）

※同委員として岡崎市市民公益活動事業費補助金 審査会（5/11）、同事業成果報告会（2/26）

（天野担当分 2 事業）

- ・岡崎市景観審議会（6/14、9/22、12/22、3/11）
- ・岡崎市景観整備機構連絡協議会（7/28、9/30）

（三矢担当分 3 事業）

- ・NPO と行政の協働に関する実務者会議（5/1）
- ・岡崎市地域福祉計画事業検討部会（9/2、10/6）
- ・岡崎市公園協議会（12/20、3/14）

（深田担当分 3 事業）

- ・岡崎市歴史まちづくり協議会（4/20、7/26、3/23）
- ・岡崎市文化財保存活用地域計画協議会（3 月書面）
- ・岡崎市「どうする家康」着地型旅行商品審査会（10/22、12/8）

オ まち育てに関する調査研究、政策提言事業

オー１ 公園愛護運営会等設立支援業務

(ア) 事業内容

岡崎市緑の基本計画に基づき、公園の管理と活用を推進する組織「公園愛護運営会」の設立の可能性を調査し、設立準備会が立ち上がった地区に対して愛護運営会の設立支援を行った。また設立後２年以上が経った公園愛護運営会の状況を把握し、その情報を関係者と共有した。

(イ) 実施時期 2021 年 4 月～2022 年 3 月

(ウ) 実施場所 岡崎市内

(エ) 従事者 三矢、斉藤、長谷川

(オ) 事業収入 3,960,000 円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：公園緑地課）

(カ) 成果

- ・新たな公園愛護運営会の設置個所の検討を行ったのは４つである。戸崎公園、駅南中央公園、樫山公園、および NPO おかざき農遊会（農遊会については、協議の結果、駅南中央公園の活動に合流いただくことになった）。いずれも公園愛護運営会設立に向けて協議検討を進めた。
- ・設立支援の結果、３つの愛護運営会が設立された（伊賀公園と北斗台 4 公園でそれぞれ 1 団体が設立された）。
- ・既存の公園愛護運営会の運営補助として、伊賀公園、北斗台 4 公園、岩津北公園、春咲 3 公園に適宜支援した。
- ・設立から２年以上が経った公園愛護運営会（春咲 3 公園、岩津北公園、棚田公園）の公園愛護運営会の現況把握をし、資料を取りまとめた。

オー２ 地域包括ケアシステム支援業務

(ア) 事業内容

「高齢者が安心して暮らせるまちづくり」に向けて岡崎市は、市内 20 の地域包括支援センター（以下、「包括」）の設置運営を進めてきた。包括は、地域団体、ボランティア、医療機関、教育機関を巻き込んだ「地域包括支援システム」の構築を進めている。りたは生活支援体制構築事業（第 1 層）を担う立場から、地域包括支援センターの活動（会議ファシリテーション、広報）支援を行った。

(イ) 実施時期 2021 年 4 月 10 日～2022 年 3 月 31 日

(ウ) 実施場所 岡崎市内各地

(エ) 従事者 三矢、天野、小嶋、長谷川

(オ) 事業収入 4,279,600 円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：ふくし相談課）

(カ) 成果

- 1 つながり力アップゼミ（全 3 回）：昨年度まで実施されてきた「包括ケアゼミ」から改良。地域包括支援センターが、地域とのつながりをつくる能力を高める場、としての目標を会議名として明示し、学びの場の運営を行った。対象は、地域包括支援センター職員。岡崎市内での実践事例（会議支援モデル、広報モデルでの実践事例を中心に）を通じて、地域包括支援センターが地域とつながる能力を高めた。

2 役割と居場所にあふれるまちミーティング（全7回）：岡崎市（ふくし相談課）、社会福祉協議会、岡崎まち育てセンター・りた、コミュニティ・ソーシャル・ワーカーなど（計20名程度）、市内全域を対象として、地域共生社会の実現、推進を図るための意見交換の場を企画運営した。内容は、テーマ設定をした連続勉強会（フードドライブ、移動支援）とアイディアソンに向けた企画検討や実施後のアクションプラン検討。

3 会議支援 東部、西部

1) 西部包括：関係者を集めたケア会議を発足。ビジョン策定、活動主体であるパーラーちばると支援者である地域包括の役割分担を整理した。当面、地域ニーズ、課題解決とパーラーちばる活用のマッチングを進めていくことが重要であることが判明したため、キーパーソンへのヒアリング活動を着手した。

2) 東部包括（本宿学区）：本宿学区地域ケア会議（本宿げんきを考える会）にて、むらさきかんで実施した「東海中学区 AtoZ」を紹介したところ、コロナ禍において高齢者の外出機会の創出のために本宿学区版 AtoZ をつくりたいという意向を受け、東部包括とむらさきかんが連携し、「本宿学区おでかけ MAP」を作成した。むらさきかんは、東部包括が主体的に同 MAP を作成できるようワークシートの提供、ワークショップの企画・運営支援および、印刷費用を抑えるために A3 両面の AtoZ 専用の書式（Word 形式）を作成した。MAP の作成は東部包括が担当し、予算は町内会向けの補助金を活用することで、他学区でも実施可能な作成方法を確認することができた。次年度は真福包括と常磐南学区での作成に横展開する予定である。

3) ロジックモデル研修（12/16）：地域包括支援センターの活動について、「インプット、アウトプット、初期アウトカム、中間アウトカム、最終アウトカム」を整理するロジックモデルを作るスキルアップを実施。

4 広報支援

1) ひな包括（広幡、井田学区）：

- ・広報紙：主に、企画、原稿、見せ方へのアドバイスなど、広報紙の発行を自立して行うための伴走支援を行なった。年4回発行のため、1回につき企画書をもとにして個別のアドバイス（直接 or リモート）、初校に対して校正と見せ方の提案を行なった。
- ・便利帳：地元との話し合い（3回）を含め、計11回の打ち合わせを行い、冊子作成へのアドバイスをを行った。作成が順調に進むように、編集者の視点から地元や組織の意見を調整したほか、地図作成や項目の立て方などの直接的な編集のアドバイスなども行なった。

2) スクエア包括（城南、羽根学区）：

- ・チラシ：今年度配布のチラシ2点の校正（赤字入れと解説をメール送付）
- ・広報紙：企画や原稿をもとに1発行につき1回（約1時間～1時間半程度）のリモートのディスカッションを行なった。担当のメンバーに参加してもらい、企画や紙面の見せ方のアドバイスはもちろん、他のアプローチ方法や、業務の難しさなどについてざくばらんに意見交換を行った。また、スクエア包括で実際に記事作成のシミュレーションやピラミッドストラクチャーによる記事の論理的な展開（項目整理）を実践してもらったことで、「つながり力」「ロジカルシンキング」向上のための有効な（具体的な）アドバイス方法についても検討ができた。今後、他の包括センターへの支援にも活用していく。

- 3) 真福包括：
- ・広報紙：内部での情報共有、外部への情報発信を行うための企画の作成と、受け手の存在を意識した紙面づくりの強化を目指した。まずヒアリング（2回）や地域の情報収集を行

い、地域のキーパーソンや、課題を抱えている人がいるのかを分析（ステークホルダー分析）した。そのうえで、包括側が伝えたい情報や対象、その対象に関係する人（つながっている人）に抜け漏れがないように全体像を確認。今、考えられるネタ帳（題材と切り口）を作成し、その中から来年度の掲載予定表を作成した。また広報紙の発行については、企画&プロットシートのチェック&アドバイスと、初校に対しての校正&アドバイスを行なった。

- 5 終活ワーキング：終活すぐろくの付属品として、すぐろくの企画意図や用語の解説をする「健康長寿国の入国パスポート」を作成。※その他の目的として、包括の出前講座などで QOL や終活の話のきっかけになることを想定。→企画は昨年決まっていたため、ふくし相談課とのやりとりし、見せ方の提案と作成を行なった。

カ 市民と企業と行政をつなぐまち育て支援事業

カー 1 乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン事業

（ア）事業内容

乙川リバーフロント地区では、豊富な公共空間を活用して、公民連携事業（QURUWA プロジェクト）を実施することにより、地区内での回遊を実現させ、まちの活性化（暮らしの質の向上・エリアの価値向上）を図る「乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画（QURUWA 戦略）（以下「QURUWA 戦略」という）」が推進されている。

本年度は、QURUWA 戦略の進捗に係る情報共有、民間事業者の投資意欲促進等を行うシンポジウムの開催及び籠田公園・中央緑道周辺地区における地域住民自らによるエリアマネジメントの実現を目的とする支援を行うことにより、QURUWA 戦略の推進を図った。

（イ）実施時期 2021 年 7 月～2022 年 3 月

（ウ）実施場所 岡崎市中心市街地

（エ）従事者 天野、三矢、岩ヶ谷、山田、長谷川、岩川

（オ）協働先 7 町・広域連合会／次世代の会、studio36、Okazaki Microhotel ANGLE、スコシズ、プロジェクト、RFA、アフタヌーンソサエティ、ワークヴィジョンズ など

（カ）事業収入 8,569,000 円

（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：都市施設課）

（キ）成果

今回の QURUWA シンポジウムの申込者数は 318 名で、昨年度の 429 名より減ったものの、オンライン配信により地域問わず多くの方に視聴いただけた。

今回、「MeguruQuruwa2.0」と銘打って、これまでの軌跡を振り返ると共に、フェーズの変化を読み解くねらいがあったが、パネルディスカッションの内容から、これまでのフェーズが「公共空間（公有地）の整備と活用」、「回遊性の向上」といったテーマに主眼が置かれていたのに対し、これからは「民有地の活用と更新」、「豊かな暮らしの実現」というテーマの重要性を示すことができた。

これまでのシンポジウムは、主にまちづくりデザインアドバイザーが登壇し、議論するスタイルを採ってきたが、今回は QURUWA で活動する地元の方々から、直接発表していただき、パネル

ディスカッションにも加わってもらったことで、より具体的かつ現実味のある議論が展開された。また、藤村氏が例示した「観光地型（＝川越市）」、「高度利用型（＝所沢市）」という都市経営の類型は、今後岡崎市が目指すべき方向性を考える上で有効な参照項となり、住宅地・商業地・業務地の性格が共存し、かつ自然（山間地）と近いという地域特性を持つ岡崎ならではの都市経営の方向性が見出された。

籠田公園・中央緑道周辺地区の地域経営支援業務では、「7 町・広域連合会の推進主体の持続可能性を高めること」という命題に対して、7 町・広域連合作戦会議にて協議検討を重ね、現役世代の住民や商店主・事業者（地域包括支援センターなど公的組織含む）、行政の若手担当課らに声掛けをし、7 月に「KCBM 次世代の会」が発足、その後、月 1 回のリズムで定期的に議論、検討を進めるまでになった。

こうした議論を踏まえて、不動産マッチング事業や高齢者の生活支援サービス事業の企画、事業化が進み、地域内外の担い手が連携しながら地域に必要なコミュニティ・サービスを実現するモデルが生まれつつあり、これらの取組の自立化を支援しながら、今後市内各所での横展開を図っていきたい。

カー 2 かわまちづくり運営支援事業

（ア）事業内容

本年度より乙川河川緑地の一部（乙川左岸殿橋下流～名鉄鉄橋）が指定管理者（ホームックス・スノーピークビジネスソリューションズ共同企業体）の管理となり（従前は岡崎市管理）、かわまちづくりの実行委員会はおとがワ！活用実行委員会より、指定管理者が組成したリバーライフ推進委員会に移行した。昨年度までおとがワ！活用実行委員会の事務局として本法人が河川活用を推進していた経緯から、スノーピークビジネスソリューションズより依頼を受け、既存アクティビティ等の企画実行支援、関係機関・プログラム実施者との調整を行った。

（イ）実施時期 2021 年 4 月～2022 年 3 月

（ウ）実施場所 岡崎市中心市街地

（エ）従事者 岩ヶ谷、天野、山田拓

（オ）協働先 リバーライフ推進委員会、プログラム実施者など

（カ）事業収入 2,640,000 円（株式会社スノーピークビジネスソリューションズからの事業受託費より繰り入れ）

（キ）成果

上記体制移行に伴い、リバーライフ推進委員会と定期的に情報共有すると共に、おとがワ！ンダーランドのプログラム実施者が事業を継続できるよう調整し、円滑なかわまちづくり運営を支援した。結果、従前のプログラムに指定管理者が実施する新たなプログラムが加わり、日常的な豊かな水辺活用の継承・発展に寄与した。

カー 3 中山間地関係人口創出プロジェクト

（ア）事業内容

岡崎市の中山間地では、若年世代の都市部への流出による人口減少、住民の高齢化に伴う地域活

動や農林業の担い手不足、獣害などの課題が深刻になっており、地域住民のみで解決していくには限界がある。中山間地の森林や水田の荒廃は、下流域(の住民)にとって水害リスクの増大につながる。一方で、乙川流域の里山があることで岡崎市民は豊かな自然環境や農林水産物などの恵みを享受することができる。そこで、中山間地の課題を中山間地の住民のみに委ねるのではなく、市域や流域全体で課題と資源をわかちあうパートナーシップを築き、里山や乙川流域の地域コミュニティや自然環境を共に支えることで、持続可能な地域づくりを実現する仕組みの構築を目指す必要がある。

岡崎市の北部に位置する中山間地の下山地区は、豊かな自然環境や日本酒「孝の司」で有名な柴田酒造場など、豊かな地域資源を有する地域である。一方で、人口減少や少子高齢化が進展している地域でもあり、魅力を知ってもらう交流イベントが行われているが、移住の促進にはいたっていないという課題を抱えている。

そこで、下山学区を対象として、持続可能な地域づくりのモデル構築を目指し、地域の生活環境や住民の意向把握、空き家や休耕田畑などの遊休資産の実態と所有者の意向調査及び今後の取組の方針検討を行った。

(イ) 実施時期 2021年6月～2022年3月(3ヵ年を予定)

(ウ) 実施場所 下山学区

(エ) 従事者 岩ヶ谷、天野、山田

(オ) 協働先 下山学区対策委員会、岡崎市中山間政策課

(カ) 事業収入 327万円(東海ろうきん「NPO育成助成」100万円、りた自主財源100万円、岡崎市からの事業受託費127万円 担当課：中山間政策課)

(キ) 成果

- ・地元が主体的に実施した全住民アンケート(小学生以上を対象)の作成、集計、分析を支援し、地域住民の意向を整理した。
- ・空き家や遊休農地の実態を調査し、「遊休資産カルテ」を作成し、今後の遊休資産活用の基礎情報を整理した。
- ・中山間政策課と定期的に情報交換を行い、本取組の進捗が評価され、岡崎市が作成した「中山間地域活性化計画」のモデル地区として下山学区が選定され、「中山間地域活性化計画策定支援業務」の受注につながった。
- ・この業務では、同計画に位置づけられた「地区別計画」策定のため、「下山のよりよい未来を考えるワークショップ」を開催し、目指すべき地域の将来像、旧JA下山支店の活用法、今後の活動方針を抽出し、「かわらばん」に内容をまとめた。

カー4 エキニシタウン会議部会運営事業

(ア) 事業内容

本業務は、名古屋駅西地区(以下「駅西地区」という)において、関係学区区政協力委員会、まちづくり協議会などの関係団体、本市及びアドバイザーにより構成される名古屋駅西地区まちづくり推進会議(以下「エキニシタウン会議」という)に設置された部会において、エキニシタウン会議で検討された駅西地区のまちの将来像を実現するための具体的な取組等について部会での議論を進めるとともに、各活動へつなげていく。

(イ) 実施時期 2021年5月～2022年3月

- (ウ) 実施場所 中村区役所ほか
- (エ) 従事者 三矢、長谷川、小嶋
- (オ) 事業収入 2,915,000 円 (名古屋市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：リニア関連・名駅周辺開発推進課)
- (カ) 成果
- ・編集部会；活動紹介パンフレットが完成した。
 - ・安心安全部会：以下3点の客引き対策について協議検討を行った。①優良店舗へのステッカー交付、②客待ち行為への啓発、③音声スピーカーによる警告。
 - ・にぎわい部会：活動コンセプト「昼も夜も、若者、子ども、女性、子育て世代も訪れたいまち」を策定した。

カー5 「名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備事業」パークマネジメント活動業務

- (ア) 事業内容
- 瑞穂公園（名古屋市瑞穂区）内児童園（全3園）に関する市民参加型ワーク（全3回）を監修し、基本設計等に地元の意見を反映させた。
- (イ) 実施時期 2021年10月～2022年3月
- (ウ) 実施場所 豊岡コミュニティセンター、弥富コミュニティセンター、汐路コミュニティセンターほか
- (エ) 従事者 三矢、長谷川、名畑
- (オ) 事業収入 1,760,000 円 (西武造園株式会社からの事業受託費より繰り入れ)
- (カ) 成果
- ・3つの児童園の基本設計に市民意見を反映することができた。
 - ・公園の管理や活用に関わる市民意識を醸成することができた。

カー6 「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」に関するコンサルティング

- (ア) 事業内容
- 尾張旭市は三郷駅前開発事業の推進に際し、愛知県立芸術大学とまちづくりに関する協定を締結した。愛知県立芸術大学はこれを受け、「愛知県立芸術大学受託事業三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務（以下本事業）」により、地権者を含む三郷駅周辺市民らが駅前開発事業区域及びそれを核とした近隣のまちづくりのより良いビジョンの採択に貢献しようとしている。本事業はこれらを踏まえ、大きく5つの phase で構成しており、各 phase で期待しているコンサルティングの内容を定義する。Phase0 準備期間、年度計画の策定 Phase1 市民フォーラムの企画設計実施 Phase2 市民WS1の企画設計実施 Phase3 市民WS2,WS3の企画運営実施 Phase4 グランドデザインコンセプトの開発、報告書作成 特に本仕様書が定義するコンサルティングは、市民参加型まちづくりの実践的で豊富な経験を有する者が、本事業を効果的に推進するために必要な専門性の高いアドバイス、コンセプト開発、ワークショップの設計等を提供した。
- (イ) 実施時期 2021年5月～2022年3月

- (ウ) 実施場所 尾張旭市役所ほか
(エ) 従事者 三矢
(オ) 事業収入 1,298,000 円 (愛知県立芸術大学からの事業受託費より繰り入れ)
(カ) 成果

地域共創(市民参加型まちづくり)の視点から市民参加型公共事業の意思決定支援プログラム全般へのアドバイスを行うとともに、愛知県立芸術大学が尾張旭市に対して提示したプロポーザル案に記載した Phase0~4 の考え方に基づき、以下に示すような専門的な協力を行った。
①Phase0 三郷駅前再開発にまつわる各種報告書等の内容を踏まえた課題設定 ②Phase1 各種の事例研究に基づくフォーラム、プレゼンターとして出演 ③Phase2 アイデンティティ発掘 WS1 の設計、ファシリテーション ④Phase3 未来シナリオ WS2,WS3 の設計、ファシリテーション ⑤Phase4 グランドデザインコンセプトの開発・可視化 ⑥プログラム全般へのアドバイス。

カー7 公園緑地整備交付金事業費の内公園マネジメント会議運営補助業務

- (ア) 事業内容 愛地球博記念公園マネジメント会議(NPO、企業、大学、行政など総勢70程度の会員が参加)の会議ファシリテーション支援を行なった。
(イ) 実施時期 2021年5月~2022年3月
(ウ) 実施場所 地球市民交流センターほか
(エ) 従事者 三矢
(オ) 事業収入 591,800 円 (玉野総合コンサルタント株式会社からの事業受託費より繰り入れ)
(カ) 成果
- ・公園マネジメント会議の歴史を振り返る冊子の編集作成を支援した。
 - ・活動PR用の動画作成を支援した。
 - ・全3回のコア会議および部会の運営を支援した。

カー8 ささしま地区高架下空間のあり方に関する検討ワークショップ

- (ア) 事業内容
名古屋駅前(広小路口)広場にある名古屋駅前モニュメント「飛翔」の移設が行われる。移設先を、ささしまライブ地区名古屋高速高架下の名古屋市有地が候補地として、周辺空間と協調しあう基本設計の検討を行う。この検討に市民等の意見を反映してデザインの質を高め、さらにモニュメントを含む広場の活用に向けた主体形成を促す。
(イ) 実施時期 2021年5月~2022年3月
(ウ) 実施場所 中京テレビ放送本社、愛知大学名古屋キャンパス
(エ) 従事者 三矢、長谷川、小野、平岩、藤岡
(オ) 事業収入 3,443,000 円 (株式会社市川三千男建築設計事務所からの事業受託費より繰り入れ)
(カ) 成果
- ・ささしま地区高架下空間の基本計画に市民意見を反映させることができた。

キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業

キー 1, 2, 3, 4, 5 岡崎市地域交流センター（北部・南部・西部・東部・六ツ美分館）指定管理事業

（ア）事業内容

「地域レベルのまちづくり活動推進とシビルミニマムを充足するための複合的機能を有する交流拠点」という設置目的をもつ岡崎市地域交流センターを、指定管理者として管理運営を行った。市民活動の支援、市民サービスの拡充を目的として、貸館業務、市民活動の啓発、及び市民活動や地域活動の情報の受発信を行った。

施設運営に際しては、新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施するとともに、利用制限及び市民活動団体への利用支援（リスタート支援事業）については担当課と連携して対応を行った。

- （イ）実施場所 岡崎市北部地域交流センター・なごみん
岡崎市南部地域交流センター・よりなん
岡崎市西部地域交流センター・やはぎかん
岡崎市東部地域交流センター・むらさきかん
岡崎市地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里
- （ウ）開館日時 火曜日～日曜日（月曜定休が基本） 9:00～21:00
- （エ）従事者

- 【なごみん】 伊藤（センター長）、神谷（副センター長）、
田中雅（出納）、市川昌、吉開、手嶋、山中、吉岡、岩谷、
牧野、岩城
支援担当：平岩
- 【よりなん】 石田（センター長）、加藤智（副センター長）、
石野（出納）、永井、石本、鈴木麻、青山、天野俊、
吉田、小野田
支援担当：深田
- 【やはぎかん】 小早川（センター長）、安藤恵（副センター長）、
近藤（出納）、水澤、中西、鈴木田、野倉、岩川、
田邊、原田
支援担当：平岩
- 【むらさきかん】 阪口（センター長）、鈴木雅（副センター長）、
三井（出納）、浦野、大羽、竹本、鈴木孝、遠竹
中島、田中芳
支援担当：天野裕
- 【悠紀の里】 栗生（センター長）、平井（副センター長）
本村（出納）、磯貝、堀井、山本勝、遠藤、宮碕

山本澄

支援担当：藤岡

宮 繕

岡田、鈴木二、黒田

(オ) 事業収入 163,546,528 円

(岡崎市からの事業受託費他より繰り入れ他 担当課：市民協働推進課)

(カ) 事業の実施概要・成果

①市民活動に関する相談

内容：市民活動団体の設立手順や設立後の運営に関するアドバイス、活動希望者と活動団体のマッチング等を行った。

評価：組織運営や資金調達、広報、他団体との連携などの各種相談に対して、講座や参考情報を紹介することに加え、組織内外のネットワークを活用してなるべく多くの情報を提供することで、サポートの質の向上につながられた。

▼相談件数

相談内容	件数	内訳				
		北	南	西	東	六
市民活動団体登録相談	29 件	11 件	3 件	9 件	5 件	1 件
団体紹介相談	23 件	5 件	3 件	3 件	11 件	1 件
NPO 設立・運営相談	14 件	7 件	0 件	0 件	0 件	7 件
助成金相談	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
ボランティア相談	6 件	2 件	0 件	0 件	3 件	1 件
その他	29 件	1 件	3 件	7 件	11 件	7 件
合計	101 件	26 件	9 件	19 件	30 件	17 件

②市民活動に関する講座等の実施

(1) ボランティア及び NPO に関する講座等の開催

北	事業名：聾学校×地域 つながるプロジェクト [2 回 8/20、11/26] 内 容：聾学校が取り組む社会貢献活動と地域活動や市民をつなげることを目的に、接点を作るための手話講座等を開催。 実 績：来場者 19 名、出演ボランティア 3 団体 38 名 評 価：事後の協働を意識したプログラムにしたことで、地域資源の保全活動をしている市民活動団体が聾学校で出前授業を行うマッチングが成立。その他、地域包括支援センターや伝統文化の継承活動をしている市民活動団体と聾学校のつながりができた。
	事業名：防災講習会 [1 回 2/15～2/19] 内 容：防災意識の啓発を目的に、岡崎市の南部地域で町内活動などに携わる方を対象に、防災団体による講習会並びに展示会を開催。 実 績：来場者 35 名、出演ボランティア 3 団体 7 名 評 価：地域で活躍する防災団体と協働し、テーマに沿った展示を行うことで地元住民への防災啓発を行うことができた。また、災害ボランティアの情報を発信したこと

	で、市民へのボランティア意識向上に寄与した。
西	事業名：防災講座 [1回 7/31] 内 容：地域消防組織の課題である担い手不足解消を目的に、婦人自主防災クラブや愛知学泉短期大学食物栄養学科と協働し、活動の理解を深める講座を開催。 実 績：来場者 2 名、出演ボランティア 2 団体 10 名 評 価：参加者、協力団体共に防災意識の向上につながる学びの機会を提供しただけでなく、ボランティア活動の受け皿として、事前準備や当日の運営など積極的に参加できる機会を創出できた。緊急事態宣言等により参加キャンセルが多く出たが、参加者の満足度は高い講座となった。
東	事業名：生きがい発見！講座 [2回 11/28、12/14] 内 容：主にシニア層へボランティアや市民活動を啓発し、参加を促す講座を開催。講座を機に協力団体は活動の活性化や公益性の向上、受講者は社会参加や地域課題の解決への意識向上などの相乗効果を図った。 実 績：来場者数 24 名、運営ボランティア 9 名、出演ボランティア 1 名 評 価：市民活動団体や東部地域包括支援センターと連携して事業を行うことで、様々な形で地域活動への参加の仕方や、公益活動との関りを周知することができ、興味や関心を持ってもらう機会を創出できた。
六	事業名：ゆき防災講座 [1回 11/27] 内 容：防災・減災について学び関わる機会の創出を目的に、地域の方を対象に、自助・共助についての講座やワークショップを開催。 実 績：来場者 47 名、運営ボランティア 6 名、出演ボランティア 3 団体 3 名 評 価：災害ボランティア支援センターの仕組みや役割、ボランティアの依頼の仕方などを学ぶワークショップを通して、防災に関する意識啓発ができた。

(2)市民活動を広めるための広報に関する講座

全 セ ン タ ー 合 同 企 画	内 容：団体の広報活動促進を目的に、市民活動団体および地縁団体を主な対象に、全地域交流センターと市民活動センターの合同企画として「①年表で活動の見える化！～履歴書を作ろう～」と「②市民活動のためのクラウドファンディング超入門講座～おカネと仲間がどんどん集まる!？」を開催した。 実 績：①受講者 16 名／②受講者 14 名、出演ボランティア 3 団体 7 名 評 価：団体が目指していることやプロジェクト内容を簡潔にまとめて発信していることが広報活動にも役に立つという視点を啓蒙。本講座により、団体が広報活動を行う意味や必要性を理解したことで、効果的な広報活動を行うスキル育成の機会を提供できた。
---	--

③市民活動団体相互のネットワークづくりの促進

北	事業名：地域活動サミット in 北部～オンライン体験会&アドバイス会～ [1回 2/26] 内 容：コロナ禍での市民活動衰退を防ぐことを目的に、オンラインツールの模擬体験及びアドバイス会を開催。 実 績：来場者 4 団体 21 名
---	--

	評 価：異なる分野で活動している団体が「オンライン活動」という共通テーマの下で意見交換を行ったことで、オンライン対応のスキルアップにつながった。さらに、交流を通して、互いの活動に関心を持ち連絡先を交換する様子も見られ、今後の協働のきっかけを提供でき、ネットワークが形成できた。
南	事業名：生きがいづくり促進事業 [1回 11/1～12/26] 内 容：高齢者の生きがい創出をテーマに、さまざまな体験ができる講座を開催。講師団体には、高齢化する地域に対して将来的に支援者になるという意識の醸成を目的とした説明会を開催。 実 績：来場者 115 名、出演ボランティア 13 団体 24 名 評 価：講師団体に向けた説明会により、多様な活動団体や事業者間で高齢者問題（主に高齢化による担い手不足等）を共有でき、意識の向上につながられた。さらに、講師団体が自団体の活動を紹介し団体相互の交流を図ったことで、協働関係のきっかけとなる場を提供できた。
西	事業名：春まつり（市民活動フェス） [1回 3/6] 内 容：公益活動をしている団体が集まり、活動を発信すると共に、団体同士の横の繋がりを創出し相互理解及び協働に繋げる。 実 績：来場者 75 名、運営ボランティア 1 名、出演ボランティア 12 団体 40 名 評 価：参加団体が趣向を凝らしたブースを設置し、活動を市民に発信する機会を創出できた。団体同士が協調し相互理解を深めることができ、横の繋がりを更に強化するための交流機会の創出となり、積極的な参加を希望する団体も現れた。
東	事業名：東部の活躍人！交流会 [1回 1/29] 内 容：団体同士のネットワークおよび協働関係の構築を目的に、東部地域で地域のために活動している市民活動団体や地域団体を主な対象として、活動報告・交流会を開催。 実 績：来場者数 16 名、出演ボランティア 3 団体 3 名 評 価：持続可能な地域づくりに向けて関係人口創出に取り組んでいるまちづくり協議会をゲストに迎えて取り組みを紹介したことで、地域外の人を担い手として受け入れる体制づくりや、関係性の構築方法を学ぶ機会を創出できた。さらに、地域団体や公益的な活動団体相互のネットワークづくりへの機運が高まった。
六	事業名：ゆきファミリーパーク [1回 10/17] 内 容：企画や運営を通じて団体の相互理解の向上とネットワーク強化を目的に、市民活動団体と協働して子育て支援を主としたイベントを開催。 実 績：来場者 48 名、運営ボランティア 30 名、出演ボランティア 42 名（市民活動団体 11 団体、行政 2 課、大学 1 校） 評 価：新型コロナウイルス感染症の市警戒レベル引き上げに伴い、当初計画していた体験会やワークショップを中止し、団体の活動を紹介する展示会に変更したが、準備段階から協働していたことで多様な主体との連携ができ、新たなネットワークを構築することができた。来場者においては、団体の日ごろの活動に直接触れることができ、市民活動団体を知る機会を提供できた。

④市民活動啓発事業および施設主催事業の開催

北	事業名：なごみんミニフェスタ 2021 [1回 5/16～6/13] 内 容：市民活動団体や地域活動団体の公益活動を、活動紹介映像や展示を通して発信することで、市民と活動団体の出会いの機会を創出および市民活動の啓発につなげる。 実 績：来場者 255 名、運営ボランティア 2 名、出展 28 団体、出演ボランティア 10 名 評 価：当初、小規模なイベント形式を計画していたが、緊急事態宣言発出に伴い 1 か月間の展示に切り替えた。1 か月間の展示形式にしたことで来館者がじっくり展示物を見る（文章を読む）ゆとりができ、例年のイベント形式での開催では伝えきれなかった、当施設や参加団体の取り組みを伝える機会を創出できた。
	事業名：小学生のためのなごみんわくわく体験スクール [1回 8/5] ※計画時点の名称は「なごみん横丁」 内 容：地域ぐるみの次世代育成を目的に、市民活動団体や事業者（CSR 活動）と協働して小学生対象の体験学習イベントを開催。 実 績：来場者 90 名、運営ボランティア 3 名、出演ボランティア 5 団体 12 名 評 価：将来のまちづくりの担い手である小学生に対して、市民活動団体等が工夫を凝らして市民活動や地域活動に関連した講座を行うことで、活動啓発の機会を提供できたと同時に、子どもたちが地域に関心を持つきっかけを提供できた。
	事業名：まち育てスクール（北） [1回 11/13] 内 容：過去の開催を通して当事業から誕生した市民活動団体および郷土史家と協働して、地域の魅力や地域活動を発信するためのまち歩き企画を開催。 実 績：来場者 23 名、運営ボランティア 4 名 評 価：協働する市民活動団体が整備活動をしている岩津城址をコースの中に加えることで、その場所の歴史的価値に加えて、活動に対する理解及び団体への賛同を深められる機会を創出できた。当事業は市民活動団体や郷土史家の活躍の機会として定着、担い手として育っている。
南	事業名：まち育てスクール（南） [1回 7/17] 内 容：地域で文化や伝統を継承する人材を発掘・育成することを目的に、南部地域の風土や歴史を学び、学区の魅力を再発見する講演会を開催。 実 績：来場者 62 名 評 価：南部地域全体の歴史をテーマにした講演会を通して、自分たちの住むまちに関心を持ってもらうことができた。また、新たな魅力を発見し、まちづくりに対する意識啓発の一助となった。
	事業名：サマースペシャル キッチン丸 with よりなん [1回 7/18] 内 容：公益活動の促進を目的に、子ども食堂を運営している市民活動団体と協働（共催）し、大人と子どもが一緒に楽しめる体験型イベントを開催。 実 績：来場者 88 名、運営ボランティア 3 名、共催者 12 名 評 価：団体による体験・展示等により市民に日ごろの活動を知ってもらい、市民活動団体と市民がつながる機会を提供できた。さらに、活動への関心・理解が深まったことで、今後の地域課題の解決に向けた活動の活性化につなげられた。

	事業名：よりなん感謝祭 [1回 10/24] 内 容：市民活動の啓発を目的に、公益活動をしている団体による活動紹介ブースや作品展示、物品販売を通して市民が市民活動に触れられるイベントを開催。 実 績：来場者 275 名、運営ボランティア 3 名、出演ボランティア 12 団体 45 名 評 価：参加団体の公益活動を実演披露、展示等で市民に日ごろの活動を知ってもらうことにより、市民活動啓発の機会を提供することができた。
	事業名：子どもの国 [1回 7/25] 内 容：ボランティアの発掘・育成を目的に、教育機関等と協働し、幼児教育をテーマとした学びの場となるイベントを開催する。併せて、多世代間の交流の機会を創出する。 実 績：来場者 128 名、運営ボランティア 74 名 評 価：市民活動団体や近隣教育機関 4 校がブース出展を通して、多世代のボランティアが参加し、活動 PR と交流の機会を創出できた。また、企業の地域貢献として協賛品の提供とボランティアとして参加があった。
西	事業名：花のとう継承事業～高校生とつくる矢作商店会紹介マップ～ [7/27～10/17] 内 容：岡崎城西高校と協働し、地域の伝統行事および催しを運営する矢作商店会への理解を深め、まちのにぎわい創出を目的とした PR マップを作成。作成物は他地域での周知等に活用し、配布も行う。 実 績：来場者 122 名、運営ボランティア 14 名 評 価：高校生とともに花のとうや矢作商店街を紹介するマップ及び立体模型を作成し、他地域へ矢作の地域資源の魅力を PR したことで、まちへの関心を深めるきっかけにできた。また、当センターを核に岡崎城西高校と矢作商店会の関係構築の強化と共に、企業の参画により多様な主体が連携する企画となった。
	事業名：まち育てスクール（西） [1回 10/31] 内 容：矢作地域の魅力発信や地域愛の増進を目的に、市民活動団体と協働して、担い手の発掘及び育成につながるまち歩きを開催。 実 績：来場者 12 名、運営ボランティア 5 名 評 価：歴まち・まち歩き系の市民活動団体 2 団体と協働して企画運営したことで相互の関係も強固となった。地域との調整には氏子総代に協力してもらい、まち歩きをきっかけに団体と地域、参加者にとってそれぞれ連携強化・関係構築につながった。また、ギャラリー展示（10/19～24）により、地域の魅力を市民に発信できた。
東	事業名：むらさき麦まつり [1回 5/11～5/30] 内 容：むらさき麦や宿場を軸にした地域資源の PR や活性化を目的に、隣接する道の駅藤川宿やまちづくり協議会、大学、福祉施設等と協働し、合同企画を実施する。 実 績：来場者 82 名、運営ボランティア 1 名、出演ボランティア 7 名 評 価：藤川散策マップやむらさき麦細工等の展示を行ったことで、藤川宿やむらさき麦畑見学との連動性を高められた。本事業では、活動団体がコロナ禍におけるイベントの在り方を模索する中で最大限できる活動と一緒に考え、協働することができた。

六	事業名：むらさきかんまつり [1回 9/12] 内 容：市民活動の啓発及び団体活動の活性化を目的に、東部地域で公益活動をしている団体による活動発表を通して、市民が市民活動に触れられるイベントを開催。 実 績：来場者 64 名、運営ボランティア 12 名、出演ボランティア 75 名 評 価：市民活動団体や福祉施設等による地域や活動の魅力を発信するテーマ展示により市民に日ごろの活動を知ってもらう機会となり、市民活動啓発の機会を提供することができた。
	事業名：食育教室 [2回 11/3、11/13] 内 容：地域資源を使った地域活性化を目的に、大学や NPO 法人等と協働して、地元食材を使ったまちおこし支援ならびに健康を考えた食育の講座を開催。 実 績：来場者 127 名、運営ボランティア 3 名、出演ボランティア 64 名 評 価：学生ボランティアが授業で学んだことや個人のスキルを活かし企画運営に携わり活動の幅を広げる場を提供できた。また、まちづくり協議会や福祉系 NPO 法人と連携し、むらさき麦の PR と麦の販路拡大、団体による地域貢献の道筋を立てられた。
	事業名：まち育てスクール（東） [1回 12/4] 内 容：まちの魅力を伝え発信する担い手の育成及び多世代交流を目的に、中学校と協働して、自分のお気に入りの場所や地域の人が大切にしている場所など、様々な視点から地域の魅力を掘り下げ「AtoZ」という手法を用いてまとめ、発信した。 実 績：来場者 8 名、出演ボランティア 6 名 評 価：まちの魅力を伝える AtoZ 冊子を作成することを通して、中学生が自身の住むまちのことを知り、関心を持つ機会を提供できた。さらに完成した AtoZ の発表会により地域の魅力の発信ならびに聴衆と中学生の多世代交流の場も創出できた。
	事業名：ゆきフェスタ [1回 2/20] 内 容：市民活動の啓発を目的に、市民活動団体および公益的な活動をしている団体による活動発表のイベントを開催。また、開催・運営を通して参加団体間ならびに団体と市民との交流を図る。 実 績：来場者 99 名、出演ボランティア 18 団体 49 名 評 価：来場した市民に活動を知ってもらうことにより、市民活動啓発の機会を提供することができた。また、コロナ禍で活動を制限している団体に、日頃の活動を来場者に知ってもらう機会を提供することにより今後の活動の活性化につなげることができた。
	事業名：バンザイみんなでアート [1回 10/3～11/6] 内 容：市民活動や地域への参加意識の醸成を目的に、地域の行事と連動して、公益活動団体と市民によるアート作品を共同制作する。 実 績：来場者 17 名、運営ボランティア 34 名、出演ボランティア 4 名 評 価：公益的な活動をしている団体、市民活動団体、学校(生徒)、市民が共同で 1 つのアート作品を作り上げることで、参加者や作品を見学した来館者に、市民活動に対して興味を持ってもらうことができた。

	事業名：まち育てスクール（六ツ美） [2回 10/19、11/13] 内 容：協働によるまちづくりの担い手の育成を目的に、市民のまちづくり意識啓発、地域の魅力の発掘・発信のための意見交換会を開催。 実 績：来場者数 17 名、出演ボランティア 1 名 評 価：小学校・PTA やこども 110 番の家の事業所、総代会、社教のメンバーから参加者を集めた意見交流会を通して、今後の相互に顔の見える関係づくり、地域の防犯意識・防犯レベルのアップにつなぐことができた。
--	--

⑤社会貢献活動の啓発

全 セ ン タ ー 合 同 企 画	事業名：まちびとバンク（ボランティアマッチングシステム）運営事業
	内 容：ボランティア希望者とボランティアを待っている団体をつなぎ、ボランティア活動の促進および団体の活動の活性化を支援した。
	実 績：依頼件数 41 件（北 7 件、南 6 件、西 13 件、東 3 件、六 12 件）
	マッチング数 1,326 人（北 104 人、南 99 人、西 625 人、東 318 人、六 180 人）
	評 価：コロナ禍においても、工夫してボランティアの活躍の場を作り、受け皿としての機能を果たすことができた。同時に、ボランティア相談なども適切に対応し、コーディネート機能も果たすことができた。

（ク）施設の利用状況（2021 年 4 月から 2022 年 3 月） *市民活動ステーションには作業室人数を含む

北	総利用者数	36,071 人 [月平均 3,006 人、前年度比 140%]			
	活動室稼働率	平均 48% [最大月（4 月）=55%、最小月（1 月）=38%]			
	市民活動ステーション*	イベント来館者	活動室		防災活動室
	1,743 人	0 人	2,375 件	17,602 人	
	ホール		調理室		プレイルーム
	723 件	11,530 人			2,356 件 5,196 人

南	総利用者数	50,893 人 [月平均 4,241 人、前年度比 135%]			
	活動室稼働率	平均 54% [最大月（12 月）=65%、最小月（9 月）=41%]			
	市民活動ステーション*	イベント来館者	活動室		防災活動室
	3,155 人	358 人	4,339 件	35,219 人	330 件 3,469 人
	ホール		調理室		プレイルーム
			173 件	977 人	3,695 件 7,715 人

西	総利用者数	44,696 人 [月平均 3,725 人、前年度比 144%]			
	活動室稼働率	平均 52% [最大月（12 月）=65%、最小月（5 月）=39%]			
	市民活動ステーション*	イベント来館者	活動室		防災活動室
	7,259 人	184 人	2,397 件	17,159 人	203 件 1,149 人
	ホール		調理室		プレイルーム
	774 件	13,080 人	221 件	793 人	2,483 件 5,072 人

東

総利用者数	48,442 人 [月平均 4,037 人、前年度比 136%]					
活動室稼働率	平均 46% [最大月 (11 月) =55%、最小月 (9 月) =39%]					
市民活動ステーション*	イベント来館者	活動室		防災活動室		
2,951 人	64 人	3,743 件	33,437 人	121 件	752 人	
ホール		調理室		プレイルーム		
		109 件	503 人	4,883 件	10,735 人	

六	総利用者数	33,268 人 [月平均 2,772 人、前年度比 132%]					
	活動室稼働率	平均 48% [最大月 (11 月) =61%、最小月 (6、9 月) =42%]					
	市民活動ステーション*	イベント来館者	活動室		防災活動室		
	931 人	155 人	2,670 件	24,845 人			
	ホール		調理室		プレイルーム		
					3,302 件	7,337 人	

3 法人運営に関する事項

(1) 総会

ア 第16回通常総会

- (ア) 開催日時及び場所 2021年6月25日(金) 10:00~11:00
岡崎市図書館交流プラザリぶら 301 会議室
- (イ) 議題<審議事項> ①2020年度 事業報告書(案)及び決算書(案)について
②2021年度 役員の選任(案)について
③2021年度 事業計画(案)及び事業予算(案)について
④役員給与の支払額(案)について

(2) 理事会

ア 第1回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2021年6月4日(金) 10:00~11:30
岡崎市図書館交流プラザ・リぶら 302 会議室
- (イ) 議題<報告事項> ①育児介護休業規程等の改正について
②働き方改革の状況等について
- <審議事項> ①2020年度 事業報告書(案)及び決算書(案)について
②2021年度 役員体制(案)について
③2021年度事業計画書(案)及び事業予算(案)について
④役員給与の支払額(案)について
⑤常勤職員の夏季賞与(案)について
⑥パートタイム労働者就業規則の改正について
⑦第4期地域交流センター指定管理提案方針(案)について
⑧事業基金の返戻及び新規事業に関する取り崩しについて

イ 第2回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2021年8月27日(金) 10:30~11:30
岡崎市市民会館 会議室
- (イ) 議題<報告事項> ①事業進捗報告(4月~6月)について
②2021年度第1四半期決算(4~6月期)について
③「情報セキュリティ基本方針」及び
「情報セキュリティ関連規程」の制定について
④「賃金規程」の改正について
- <審議事項> ①地域交流センターパートタイム労働者の賃金改定(案)について

ウ 第3回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2021年11月29日(月) 10:30~11:10
岡崎市市民会館 リハーサル室 第2号室
- (イ) 議題<報告事項> ①事業進捗報告(7月~9月)について

- ②2021 年度第 2 四半期決算(4～9 月期)について
<審議事項> ①常勤職員の冬季賞与(案)について

エ 第4回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2022 年 3 月 3 日(木) 10:30～11:30
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 103 会議室
- (イ) 議題<報告事項> ①事業進捗報告(10 月～12 月)について
②2021 年度第 3 四半期決算(4～12 月期)について
③賃金規程の改定について
- <審議事項> ①2022 年度職員の昇給(案)について
②2022 年度 4～6 月 暫定予算(案)について
③職員就業規則等の改正(案)について

(3) その他

ア 情報セキュリティ管理の推進

- (ア) 情報セキュリティに関する規則・規程類の整備(2021 年度に新たに制定したもの)
- ・情報セキュリティ基本方針
 - ・情報セキュリティ管理規程

法人名: 特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた

活動計算書

令和3 年 4 月 1 日 ~ 令和4 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	金 額		備 考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	235,000		14団体、個人25名
賛助会員受取会費	69,000	304,000	4団体、個人4名
2. 受取寄附金			
受取寄附金	1,095,270	1,095,270	日本NPOセンター ソフト導入支援
3. 受取助成金等			
受取助成金	1,745,000	1,745,000	両立支援等助成金・東海労働金庫NPO助成金
4. 事業収益			
1) まち育て推進事業収益			
学習機会事業	0		未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト
調査研究事業	5,406,000		地域包括ケアシステム支援・中山間地域活性化計画
対話協働事業	24,930,675		小浜・フロンティア地区まちづくりデザイン・まちづくり運営支援・中山間地域関係人口創出等 公園愛護運営会設立支援・エネシティ会議所会運営・環境公園・アサギ・まち活動 他
2) 市民活動支援事業収益			
相談助言事業	8,934,656		りぶら市民活動センター運営
拠点運営事業	163,591,894		岡崎市地域交流センター(東・西・南・北・パッセ分館)指定管理
3) その他事業収益			(広報講座・まちびと関連 含む)
情報発信事業	1,815,000		乙川リバーフロント地区まちづくり情報発信
専門家派遣事業	229,480	204,907,705	景観審議会 他
5. その他収益			
受取利息	549	549	岡崎信用金庫・東海労働金庫 普通預金 利息
経常収益計		208,052,524	
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	91,165,245		
法定福利費	6,294,385		
人件費計	97,459,630		
(2) その他経費			
仕入	199,588		
外注費	45,470,242		
旅費交通費	827,070		
通信費	145,672		
消耗品費	6,219,292		
事務用品費	363,529		
接待交際費	9,738		
会議費	8,502		
賃借料	786,806		
支払手数料	220,902		
保険料	144,101		
支払報酬	726,025		
新聞図書費	343,002		
修繕費	696,366		
租税公課	12,287,100		
減価償却費	189,061		
研修費	43,320		
広告宣伝費	201,132		
雑費	258,934		
その他経費計	69,140,382		
事業費計		166,600,012	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	3,924,000		
給料手当	21,625,994		
法定福利費	5,001,747		
福利厚生費	2,807,654		
人件費計	33,359,395		
(2) その他経費			
外注費	1,494,939		
旅費交通費	201,840		
通信費	486,124		
消耗品費	700,986		
事務用品費	94,719		
水道光熱費	199,535		
接待交際費	21,228		
会議費	15,210		
賃借料	1,858,380		
支払手数料	279,249		
諸会費	67,600		
保険料	126,210		
支払報酬	1,221,000		
新聞図書費	27,600		
租税公課	61,882		
減価償却費	177,943		
費用弁償	125,000		
雑費	288,101		
その他経費計	7,447,546		
管理費計		40,806,941	
経常費用計		207,406,953	
当期経常増減額		645,571	
III 経常外収益			
1. 過年度損益修正益	0		
経常外収益計		0	
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損			
経常外費用計		0	
税引前当期正味財産増減額		645,571	
法人税、住民税及び事業税		332,700	
当期正味財産増減額		312,871	
前期繰越正味財産額		41,500,917	
次期繰越正味財産額		41,813,788	

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。(取得価額が30万円未満である減価償却資産は、一定の要件のもとに一部損金処理しています。)
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	学習機会事業	調査研究事業	対話協働事業	相談助言事業	拠点運営事業	情報発信事業	専門家派遣事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益										
1. 受取会費								0	304,000	304,000
2. 受取寄附金					860,343			860,343	234,927	1,095,270
3. 受取助成金等			1,000,000					1,000,000	745,000	1,745,000
4. 事業収益		5,406,000	24,930,675	8,934,656	163,591,894	1,815,000	229,480	204,907,705		204,907,705
5. その他収益								0	549	549
6. 事業費振替収入			1,000,000					1,000,000	45,012,820	46,012,820
7. 管理費振替支出		△ 1,621,800	△ 7,897,920	△ 2,704,396	△ 32,244,204	△ 544,500		△ 45,012,820	△ 1,000,000	△ 46,012,820
経常収益計	0	3,784,200	19,032,755	6,230,260	132,208,033	1,270,500	229,480	162,755,228	45,297,296	208,052,524
II 経常費用										
(1) 人件費										
役員報酬								0	3,924,000	3,924,000
給料手当	217,079	2,760,016	8,629,890	5,924,788	72,402,216	1,069,219	162,038	91,165,246	21,625,994	112,791,240
法定福利費	32,052	406,679	1,258,173	353,138	4,061,172	158,715	24,455	6,294,384	5,001,747	11,296,131
福利厚生費								0	2,807,654	2,807,654
人件費計	249,131	3,166,695	9,888,063	6,277,926	76,463,388	1,227,934	186,493	97,459,630	33,359,395	130,819,025
(2) その他経費										
仕入				49,300	150,288			199,588		199,588
外注費		1,375,290	5,751,942	220,960	38,118,430		3,620	45,470,242	1,494,939	46,965,181
旅費交通費		15,530	237,650	15,150	557,800		940	827,070	201,840	1,028,910
通信費			7,948	693	120,542	16,489		145,672	486,124	631,796
消耗品費		64,239	40,372	161,421	5,949,557	3,203	500	6,219,292	700,986	6,920,278
事務用品費		1,114		5,283	357,132			363,529	94,719	458,248
水道光熱費								0	199,535	199,535
接待交際費					9,738			9,738	21,228	30,966
会議費			5,526		2,976			8,502	15,210	23,712
賃借料				1,120	785,686			786,806	1,858,380	2,645,186
支払手数料				24,948	195,954			220,902	279,249	500,151
諸会費								0	67,600	67,600
保険料					144,101			144,101	126,210	270,311
支払報酬			657,888		68,137			726,025	1,221,000	1,947,025
新聞図書費					343,002			343,002	27,600	370,602
修繕費					696,366			696,366		696,366
租税公課		98,398	1,569,177	709,003	9,741,603	150,100	18,819	12,287,100	61,882	12,348,982
減価償却費					189,061			189,061	177,943	367,004
研修費				500	42,820			43,320		43,320
広告宣伝費			44,908		154,078	2,146		201,132		201,132
費用弁償								0	125,000	125,000
雑費					255,810	3,124		258,934	288,101	547,035
その他経費計	0	1,554,571	8,315,411	1,188,378	57,883,081	175,062	23,879	69,140,382	7,447,546	76,587,928
経常費用計	249,131	4,721,266	18,203,474	7,466,304	134,346,469	1,402,996	210,372	166,600,012	40,806,941	207,406,953
当期経常増減額	△ 249,131	△ 937,066	829,281	△ 1,236,044	△ 2,138,436	△ 132,496	19,108	△ 3,844,784	4,490,355	645,571

3. 活動原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

2021年度 ボランティア利益換算

★当該年度愛知県最低賃金¥955で計算

区 分	事 業 名	運営ボランティア		利益換算 (小計)	算定方法
		延べ人数	延べ時間		
北 部	なごみんミニフェスタ2021	2	11.0	10,505	単価は愛知県の最低賃金955円。 出演ボランティアは従来通り含んでいません。
	なごみんわくわく体験スクール	3	6.0	5,730	
	地域活動サミットin北部	0	0.0	0	
	まち育てスクール(北)	4	12.0	11,460	
	霊学校×地域 つながるプロジェクト	0	0.0	0	
	花咲ボランティア	70	60.5	57,778	
	ふれあいひろば	0	0.0	0	
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0	
	情報誌「なごみん」発行事業	17	17.0	16,235	
	小 計	96	106.5	101,708	
南 部	まち育てスクール(南)	0	0.0	0	
	サマースペシャルキッチン丸withよりなん	3	14.0	13,370	
	よりなん感謝祭	5	15.0	14,325	
	生きがいづくり促進事業	0	0.0	0	
	防災講習会	0	0.0	0	
	情報誌「よりなん」発行事業	0	0.0	0	
	よりなん彩飾	11	18.0	17,190	
	よりなんサロン	0	0.0	0	
	屋外の花の手入れ	24	28.5	27,218	
	駐車場草刈り・剪定	6	15.5	14,803	
	敷地外周清掃	5	7.5	7,163	
	調理室清掃	28	21.0	20,055	
	館内装飾(生け花)	10	5.0	4,775	
	小 計	92	124.5	118,898	
西 部	子どもの国	74	191.0	182,405	
	防災講座	0	0.0	0	
	花のとう継承事業	14	112.0	106,960	
	まち育てスクール(西)	5	12.0	11,460	
	市民活動フェス	15	11.5	10,983	
	緑の空間づくり	312	604.0	576,820	
	館内装飾	11	22.0	21,010	
	情報誌「やはぎかん」発行事業	0	0.0	0	
	ピアノの弾き込み	14	34.5	32,948	
	小 計	445	987.0	942,585	
東 部	情報誌「むらさきかん」発行事業	0	0.0	0	
	ふれあいひろば(東)	0	0.0	0	
	むらさきかん飾り付け	289	578.0	551,990	
	地域活動コーディネート	0	0.0	0	
	むらさきまつり	1	1.0	955	
	むらさきかんまつり	12	9.0	8,595	
	むらさき妻食育教室	3	6.0	5,730	
	まち育てスクール(東)	0	0.0	0	
	生きがい発見！講座	9	18.0	17,190	
	東部の活躍人！交流会	0	0.0	0	
	アップライトピアノ弾き込み	4	4.0	3,820	
	小 計	318	616.0	588,280	
六ツ美	ゆき彩展	8	2.0	1,910	
	情報誌「悠紀の里」発行事業	0	0.0	0	
	ゆきファミリーパーク	30	78.0	74,490	
	まち育てスクール(六)	0	0.0	0	
	みんなのむつみ展	23	12.0	11,460	
	ゆきフェスタ	0	0.0	0	
	ゆきサロン	0	0.0	0	
	パンザイみんなアート	34	102.0	97,410	
	ゆき防災講座	6	12.0	11,460	
	ゆきガーデン	79	40.0	38,200	
	小 計	180	246.0	234,930	
市 活	まちびとバンクシステム	0	0.0	0	
	もののバンクシステム	0	0.0	0	
	小 計	0	0.0	0	
全施設 連 携	広報講座	0	0.0	0	
				0	
	小 計	0	0.0	0	
市活T	公園愛護運営会設立支援	9	27.0	25,785	
	地域包括ケア支援	0	0.0	0	
	名古屋駅西地区まちづくり	2	5.0	4,775	
	瑞穂PFI	0	0.0	0	
	三郷駅前まち育て	0	0.0	0	
	小 計	11	32.0	30,560	
まちT	乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン業務	18	54.0	51,570	
	かわまちづくり活用実行委員会運営支援事業	0	0.0	0	
	乙川リバーフロント地区情報発信	0	0.0	0	
	下山関係人口創出プロジェクト	5	20.0	19,100	
	中山間地域活性化計画策定支援業務	1	4.0	3,820	
	小 計	24	78.0	74,490	
合 計		1,166	2,190.0	2,091,450	

※平成29年度より日常業務に関わる運営ボランティアも本積算に含む。

※2019年度より「ボランティアコスト換算」から「ボランティア利益換算」に名称変更

4. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は41,813,788円ですが、そのうち2,000,060円は、下記のように使途が特定されています。したがって使途が制約されていない正味財産は39,813,728円です。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
基金事業	1,600,043	1,400,017	1,000,000	2,000,060	事業のための基金
東海労働金庫・NPO育成助成金		1,000,000	1,000,000	0	中山間地関係人口創出プロジェクト
合 計	0	1,000,000	1,000,000	0	

5. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	1,067,643	0	0	1,067,643	△ 1,067,642	1
什器備品	664,040	407,000	0	1,071,040	△ 727,141	343,899
合 計	1,731,683	407,000	0	2,138,683	△ 1,794,783	343,900

6. 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給与・賞与及び法定福利費については従事割合に基づき按分しています。

貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた

単位:円

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	37,064,637		
事業基金用預金	2,000,060		
商品	89,225		
未収金	21,551,944		
前払金	398,775		
流動資産合計		61,104,641	
2 固定資産			
車両運搬具	1		
什器備品	343,899		
長期前払金	8,400		
保証金	361,750		
固定資産合計		714,050	
資産合計			61,818,691
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	16,667,296		
預り金	371,507		
未払消費税	2,633,400		
未払法人税等	332,700		
流動負債合計		20,004,903	
負債合計			20,004,903
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		41,500,917	
当期正味財産増減額		312,871	
正味財産合計			41,813,788
負債及び正味財産合計			61,818,691

注1) 固定資産に関する減価償却計算の方法は、以下のとおり

- 1. 建物定額法
- 2. 建物附属設備定額法
- 3. 車両運搬具定率法
- 4. 什器備品定率法

財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた

単位:円

科目・摘要		金額	
I資産の部			
1流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	400,584	
普通預金	岡崎信用金庫本店	35,968,078	
普通預金	岡崎信用金庫岩津支店	20,000	
普通預金	岡崎信用金庫上地支店	20,000	
普通預金	岡崎信用金庫矢作支店	19,920	
普通預金	岡崎信用金庫美合支店	20,060	
普通預金	岡崎信用金庫中島支店	20,000	
普通預金	東海労働金庫岡崎支店	569,495	
普通貯金	あいち三河農業協同組合竜城支店	26,500	
普通預金	岡崎信用金庫本店（事業基金用）	2,000,060	
商品			
	コピー用紙・パウチフィルム・水切りネット	89,225	
未収金			
	乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン事業	8,569,000	
	公園愛護運営会設立支援業務	3,960,000	
	名古屋駅西地区まちづくり推進会議部会運営業務	2,915,000	
	乙川リバーフロント地区まちづくり情報発信業務	1,815,000	
	名古屋市瑞穂陸上競技場整備等事業	1,760,000	
	中山間地域活性化計画策定支援業務	1,276,000	
	公園マネジメント会議運営補助業務	591,800	
	三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務	389,400	
	かわまちづくり運営支援業務	220,000	
	行政専門家派遣1件	8,000	
	各センター・カフェ売上、物品販売、作業室、コピー機使用料	18,280	
	自動販売機手数料収入	29,464	
前払金			
	事務局家賃 令和3年4月分	100,000	
	駐車場地代 令和3年4月分	67,965	
	法務顧問・顧問料 令和3年4月分	27,500	
	レンタルコンテナ 令和3年4月分	11,250	
	警備委託料 令和3年4月～6月分	192,060	
流動資産合計		61,104,641	
2固定資産			
車両運搬具			
	営繕用軽車両1台	1	
什器備品			
	事務局パソコン2台	2	
	事務局ファイヤーウォール	86,130	
	事務局オンラインセキュリティ機器	257,767	
長期前払金			
	営繕用車両リサイクル預託金	8,400	
保証金			
	事務局	300,000	
	駐車場	61,750	
固定資産合計		714,050	
資産合計			61,818,691
II負債の部			
1流動負債			
未払金			
	職員3月分給与	9,484,896	
	設備管理・事業業務委託料	3,999,307	
	各受託事業チラシ・パンフレット等製作費、委託外注費	1,660,550	
	備品・事務用品購入、備品リース料、印刷代	543,335	
	法人負担3月分社会保険料	717,386	
	令和3年度修繕費返納金	34,634	
	書類郵送代	30,222	
	電話料金3月分	48,464	
	出張・会議交通費等未精算分	89,650	
	税理士報酬3月分	27,500	
	電気代3月分	21,814	
	健康診断	9,538	
預り金			
	住民税	239,800	
	源泉所得税	110,707	
	共済会職員給付金	21,000	
未払消費税			
	第16期分消費税 確定申告分	2,633,400	
未払法人税等			
	第16期分法人税・地方法人税	193,500	
	第16期分法人県民税・法人事業税	78,700	
	第16期分法人市民税	60,500	
流動負債合計		20,004,903	
負債合計			20,004,903
正味財産			41,813,788